

第四期中期目標期間の評価方法について（案）

1 概要

令和7年度から第四期中期目標期間となることから、第三期の評価において課題があった点について、第四期の評価方法から下記対応案のとおり変更したい。

2 第三期の県の評価方法

第三期の小項目の評価方法は、中期計画及びそれに基づく年度計画の項目（小項目）ごとに、県立病院機構が提出する自己評価を付した各事業年度の業務実績に関する報告書を基に、業務実績の検証を踏まえ、5段階（S・A～D）の区分により次のとおり評価した。

目標値がある項目

○小項目内の機構自己評価を、次のとおり点数化し、さらに平均点を算出。

S…5点、A…4点、B…3点、C…2点、D…1点

○算出した平均点の数値を、次のとおり当てはめて、評価とする。

S	A	B	C	D
4.5 以上	3.5 以上～4.5 未満	2.5 以上～3.5 未満	1.5 以上～2.5 未満	1.5 未満

※なお、上記原則によらず、個別事情を勘案し、評価をする場合がある。

※評価のイメージ

区分		目標達成の目安
S	年度計画を大幅に上回って達成している	大幅に上回って達成
A	年度計画を達成している	ほぼ100%の達成
B	年度計画を概ね達成している	80%以上の達成
C	年度計画を下回っており改善の余地がある	60%以上～80%未満の達成
D	年度計画を大幅に下回っており大幅な改善が必要である	60%未満の達成

目標値が無い項目

○小項目の実績を総合的に勘案して、上記「評価のイメージ」に当てはめて、評価する。

3 課題

第三期の評価にあたって、次のような課題が見られた。

- ・ 小項目が多すぎる。病院及び県の負担が大きいのではないか。（渋谷委員発言）
- ・ 県と機構の小項目評価方法が異なる。
- ・ 目標値を定めていない小項目や、目標値だけでは全体を判断しきれない小項目については定性的な内容で評価が難しい。
- ・ 財務の項目がわかれており、矛盾ではないが、まとめたほうが良い。（高橋委員発言）

4 対応案

第三期の評価方法を踏襲した上で、3の課題を受けて次のとおり見直しを行いたい。

(1) 小項目数を減らす

第三期（４１項目）⇒ 第四期（２３項目）

他団体等に比べても多いため、項目をまとめて約半分に減らす。

【まとめ例】

災害時の医療提供
感染症医療の提供

6 災害・感染症医療提供体制の充実・強化

(2) 県と機構の小項目評価方法を統一化する

複数の目標値を設定した小項目の評価方法を県と機構で揃える

年度評価・期間評価で複数の目標値を設定した小項目の評価方法について、第三期までは県と機構で考え方が異なっていたことから、評価結果が大きく異なる場合があったため、第四期では複数の目標値を設定した小項目の評価の視点を揃える。（具体的な方法については調整中）

（※評価区分（S～D）、その定義はこれまでと同様とする）

【第三期までの複数の目標値を設定した小項目の評価方法】

県 目標値を５段階評価で点数化し、平均点を出して評価
機構 最も低い評価を採用して評価

(3) 目標値以外も客観的に検証し総合的に評価する

目標値を定めていない取組等についても客観的に検証し、総合的に評価する

目標値を定めていない小項目や、目標値だけでは全体を判断しきれない小項目については、別紙の評価要素（例）等を参考に、取組の実績・進捗等を客観的に検証し、総合的に評価する。

(4) 関連性を考慮して評価する

関連性を考慮して評価を行う

中期目標、中期計画の構成上、項目の統一を行わないが、評価にあたっては、関連性を考慮して評価を行う。

【関連項目】

19 収益の確保及び費用の削減

関連性を考慮して評価

20 財務内容の改善に関する目標を達成するために取るべき措置

○評価項目について

・各小項目で定めた取組の実績、推進計画の実施状況や進捗状況を客観的・定量的にわかるよう記載する。

（目標値を定める項目については目標値の達成状況を記載、目標値の定めのない取組については下表の目標値以外の評価要素（例）を参考に、実施状況を記載）

	小項目	小項目 番号	目標値	目標値以外の評価要素（例）
大項目 1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 高度医療の提供				
(1)	機能の多様化と病院間連携の強化	1		○機能の多様化に係る各病院の取組状況 ○機構内の紹介・逆紹介状況 ○機構内の職員派遣状況 ○機構内の画像診断・病理診断等の連携実施状況
(2)	人材の確保と育成	2	●看護師の充足率	○採用試験の実施状況 ○職種別の職員充足状況 ○専攻医の受入状況 ○認定看護師の資格取得状況 ○研修の実施状況
(3)	最先端技術の活用と医療機器等の計画的な整備	3	●令和7年度に導入（更新）する高額医療機器（1億円以上のもの）の稼働状況件数	
(4)	臨床研究の推進	4	●治験受託件数 ●筆頭著者である英語論文件数（査読のある学術雑誌に掲載されたものに限る）	
(5)	地域の医療機関等との機能分化・連携強化	5	●紹介件数・紹介率 ●逆紹介件数・逆紹介率	○医療従事者の派遣状況 ○地域関係機関合同カンファレンス等の実施状況
2 災害・感染症医療提供体制の充実・強化				
(1)	災害医療の提供	6		○備蓄物資の備蓄状況 ○BCP訓練等の実施状況（件数、参加人数等） ○DMAT、DPATの派遣実績
(2)	感染症医療の提供			
3 患者や家族、地域から信頼される質の高い医療				
(1)	患者・家族目線に立った医療の提供	7	●入退院支援実績件数・入院時支援実施件数	○外部監査委員会開催状況
(2)	患者サービスの充実と積極的な情報発信	8		○公開講座の実施状況
(3)	医療安全対策の推進	9	●神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会による「42の提言」に基づくインシデント報告数 ●院内感染に関する研修受講率 ●手指消毒剤使用量 ●血液培養複数セット率	○アクションプランの実施状況 ○ヒヤリハット・アクシデント報告状況 ○医療事故調査の実施状況（実施中・終了） ○アクシデントに係る個別公表状況 ○医療安全に係る人員配置等 ○医療安全に係る機器の導入状況 ○医療安全に係る新たな取組があればその実施状況
(4)	第三者評価の活用	10		○病院機能評価の受審（準備）状況
4 各病院の主な機能と今後の取組				
(1)	足柄上病院	11	●手術件数（手術室で実施）、うち全身麻酔 ●救急受入れ率 ●救急車による救急受入れ件数 ●内視鏡センター実施件数（消化器内視鏡検査件数）、（消化器内視鏡治療件数） ●人工関節センター実施件数（関節症（膝・肘）人工関節置換術件数） ●急性期病棟における在宅復帰率 ●地域包括ケア病棟における在宅復帰率	○地域医療従事者の研修受入れ等の実施状況 ○医療DXの整備状況 ○その他中期計画・年度計画に記載のある事業の実施状況
(2)	こども医療センター	12	●手術件数（手術室で実施）、うち全身麻酔、うち造血幹細胞移植 ●救急車による救急受入れ件数 ●小児がん患者新規治療開始患者数 ●NICU新規入院患者数 ●MFICU新規入院患者数 ●小児緩和ケア診療加算算定件数 ●リハビリテーション件数及び単位数 ●食物経口負荷試験実施件数 ●摂食障害実施加算参加人数	○レスパイトケアの受入れ状況 ○その他中期計画・年度計画に記載のある事業の実施状況
(3)	精神医療センター	13	●クロザピンによる治療患者数【累計】 ●救急病棟入院延患者数 ●訪問看護件数 ●1年以上の長期入院患者割合（各年度末時点） ●退院後3か月以内に再入院した患者の割合	○依存症集団治療プログラム実施状況 ○依存症に関する研修等普及啓発活動実施状況 ○r-TMSによる治療状況 ○身体合併症に係る連携状況 ○その他中期計画・年度計画に記載のある事業の実施状況
(4)	がんセンター	14	●手術件数（手術室で実施）、うち全身麻酔、うちロボット支援 ●放射線治療件数 ●外来化学療法実施件数 ●遺伝子パネル検査数 ●重粒子線治療件数、うち医療インバウンド受入れ件数 ●リハビリテーション単位数 ●緩和ケア実施件数（緩和ケア病棟面談を含む） ●漢方サポートセンター外来患者数 ●がん相談件数 ●アピアランスサポート件数 ●臨床研究実施数 ●臨床的・社会的価値獲得件数	○中期計画・年度計画に記載のある事業の実施状況
(5)	循環器呼吸器病センター	15	●手術件数（手術室で実施）、うち全身麻酔 ●外来化学療法実施件数 ●カテーテルアブレーション実施件数 ●放射線治療件数 ●リハビリテーション件数及び単位数 ●間質性肺炎新規外来患者数	○中期計画・年度計画に記載のある事業の実施状況
5 県の施策との連携・協働		16	—	
大項目 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 適正な業務の確保				
(1)	内部統制の強化	17		○ヒヤリハット・アクシデント報告件数【再掲】
(2)	重大事項等に係る報告の徹底			
(3)	適切な情報の管理			
2 業務運営の改善及び効率化～医療DXの推進～				
(1)	医療DXの推進体制の構築	18		○オンライン診療実施状況
(2)	医療DXの具体的な推進内容			
3 収益の確保及び費用の節減				
(1)	経営改善	19	●新入院患者数 ●病床稼働率	
(2)	収益の確保			

小項目（素案）

(3)	費用の節減		●平均在院日数 ●入院単価 ●外来延患者数 ●外来単価 ●後発医薬品採用率（数量ベース） ●未収金の回収率	
大項目3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置				
1	経営基盤の確立について	20	●経常収支比率 ●修正医業収支比率 ●資金収支 ●長期有利子負債	
2	運営費負担金等について			
(1)	運営費負担金			
(2)	長期借入金			
3	予算（人件費の見積りを含む。）（令和7年度～令和11年度）			
4	収支計画（令和7年度～令和11年度）			
5	資金計画（令和7年度～令和11年度）			
大項目4 その他業務運営に関する重要事項				
1	人事に関する事項	21	●給与費等負荷率 ●看護師の離職率 ●職員1人あたりの年次休暇取得日数	
2	施設管理及び施設整備・修繕に係る計画の検討	22	—	
3	情報の公表・公開について	23		○アクシデントに係る個別公表状況【再掲】
目標値の設定がある小項目		14		
目標値の設定がある小項目の割合		60.9%		